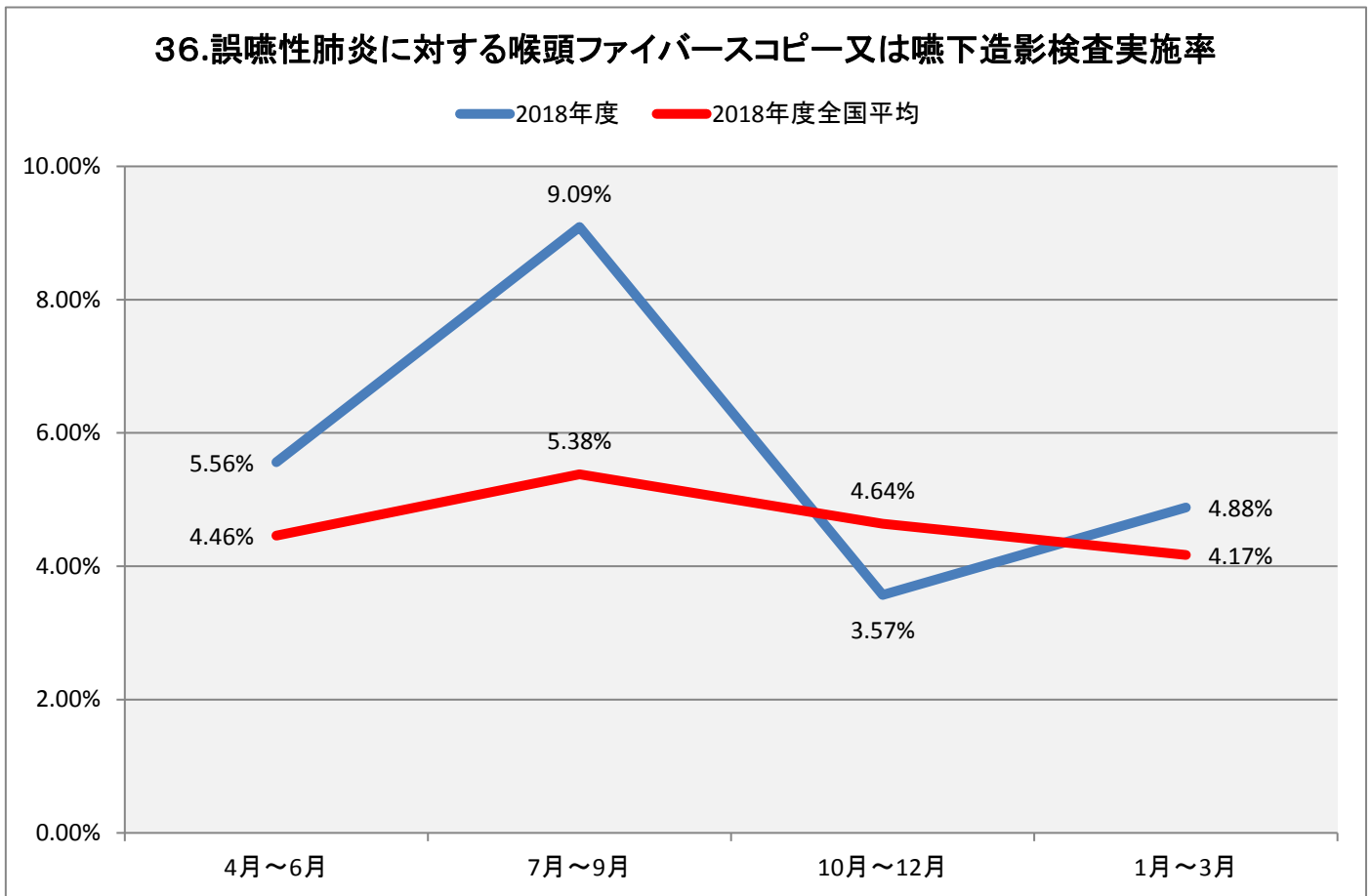


36.誤嚥性肺炎に対する喉頭ファイバースコープ又は嚥下造影検査実施率

(1)調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2018年度	5.56%	9.09%	3.57%	4.88%
2018年度全国平均	4.46%	5.38%	4.64%	4.17%

(2) 指標の説明
 誤嚥性肺炎の多くは嚥下障害によって引き起こされます。咽頭ファイバースコープや嚥下造影検査によって患者さんの嚥下機能を評価し、適切なアプローチ（治療、摂食・嚥下訓練、リハビリテーション、音声訓練など）につなげることができます。
 2018年度から採用された項目です。

(3) 定義
 分子: 分母のうち「D299喉頭ファイバースコープ」又は「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数
 分母: 誤嚥性肺炎患者数